

「自律性を高めるキャリアデザイン」講座

ねらい

変化の激しい時代には、スキルや経験を伝授すること以上に、キャリアが陳腐化するため、自ら学習し続ける思考行動特性が最重要である。社会人になった早い段階から、何のために仕事をするのか、成果を上げるためにはどうすればよいかなどを明確化させておくことが、個人のキャリアアップと会社の付加価値を上げることに直結する。

戦略に基づいたコンピテンシー・マネジメントやキャリアパスモデルが必要だという意見もあるが、的確に提示できる組織はほとんどなく、それに会社が保証や責任をもつものでもない。

思考行動特性は、実践を通じて強化されるため、進んで試練や課題を乗り越えることが近道である。また、他と差別化を図るには、自分だけのネットワーク（人脈）構築や改善・改革案を企画提案していくことが実績につながる。

本講座では、自身のキャリアデザインをより明確化させることで、何を学び、それをどう活かすかの判断力が養われ、自律的に思考・行動できる人材を倍增することを目的とする。

特色

- 先輩たちのキャリアカウンセリング事例の成功例・失敗例を振り返り、早期に社会人の目的と個人のキャリアについて深く考えるきっかけの場を提供する。
- OJT、Off-JT、自己啓発にて何を学ぶべきかが自主的に判断できるようになる。

受講対象部門と対象者

- 対象者：技術系入社3年目社員または30歳前後の社員

教材

- 事前学習：論文「仕事で成果の出せる人・出せない人」の熟読
- 事前調査：キャリアモデルへのインタビューとキャリアをどう考えていたか
- 当日教材：キャリアデザインと演習のレジюме
- 自己理解アセスメントTEG
- 事後レポート：キャリアをどう考えるか、そのためにどう学習するか、など

講師

- プロエンジニア教育研究所 代表 粕谷 茂

カリキュラム例

9:30-11:50	12:50-14:40	14:50-16:40	16:50-17:30
1. プロローグ 1.1 講座の狙い 1.2 キャリア相談事例 2. キャリアデザイン(55min) 2.1 自己理解アセスメント(TEG) 2.2 Planned Happenstance Theory 2.3 マズローの欲求段階説 3. コンピテンシー演習と解説 Q&A	4. ライフデザイン 4.1 デザインアプローチ 4.2 目的展開 4.3 改革と改善 4.4 人生のシナリオ策定(テーマ：何のために働くのか？) (参考資料：キャリアモデルインタビュー結果) Q&A	5. グループ討議と発表	6. エンジニアの基本 6.1 会社とは何か 6.2 技術力とは 6.3 求められる技術者像 6.4 重要な価値観 6.5 技術者に必須とされる能力 6.6 仕事のプロを目指す 6.7 技術者の倫理 6.8 エンプロイアビリティ向上 6.9 4つの能力と7つの重要コンピテンシー Q&A